

2010年度機械工学振興事業資金助成 行事報告

テーマ 「メカライフの世界展」

東海学生会では、機械工学振興事業資金の助成を受け「メカライフの世界展」を開催した。今日の社会生活では機械工学を含む科学技術について体験的に知る機会は多くはなく、本企画「メカライフの世界展」を通じて、その素晴らしさを子供から大人まで広く伝えることを目的としている。そして具体的には、9の大学・高専においてそれぞれテーマを立ち上げる形となっている。

三重大学では「機械工学が作り出す世界」、鈴鹿高専では「機械工学における創造工学展」、岐阜高専では「こんなところに機械工学」をテーマに、最先端の機械工学や身近な機械工学、ものづくりの楽しさが紹介された。

豊橋技術科学大では「全日本学生フォーミュラ大会参戦！～学生による熱き挑戦」、愛知工業大では「学生フォーミュラカーと形状記憶合金熱エンジンの展示と実演」をテーマに、人気のあるレースカーが主に紹介された。

豊田高専では「自作ロボットおよびスターリングエンジンの公開・実演」、中部大では「つかみは OK! ロボット展」、沼津高専では「コンピュータを組み込んだ機械」そして、愛知工科大学では「飛行機の飛ぶわけを知ろう」をテーマに、ロボット・飛行機等、機械工学を代表する機器に焦点が絞られた。自作ロボットから LEGO マインドストームによるロボットやライトレーサ、そして飛行機が飛ぶ仕組み等が紹介された。

各大学・高専で行われた9つの企画の参加者総数は3100名を超え、大盛況であった。これらの企画は、展示だけにとどまらず、体験・体感できるものが多く、参加者には、「機械工学」というものに十分親しみを持ってもらえたと思われる。今後も機械工学を含む科学技術を広く知ってもらうためにも、長く継続されることが望まれる。

添付写真は、豊橋技術科学大での企画

